

株主の皆様へ



代表取締役社長

黒田 浩史

■ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第66期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

■当連結会計期間の概況

世界経済の停滞から、当社グループの受注環境は極めて厳しい状況が続きました。後半には、ユーザーの一部業種において受注が急回復したものの生産が追いつかず、通期では受注・売上ともに極めて低水準な結果に終わりました。

この結果、当社グループの当期の受注高は7,680百万円（前年同期比24.8%減）、売上高は6,774百万円（前年同期比40.5%減）となりました。こうした中で、生産効率強化、リードタイム短縮、固定費削減等の体質強化策を実施してまいりましたが、大幅な減収のために、

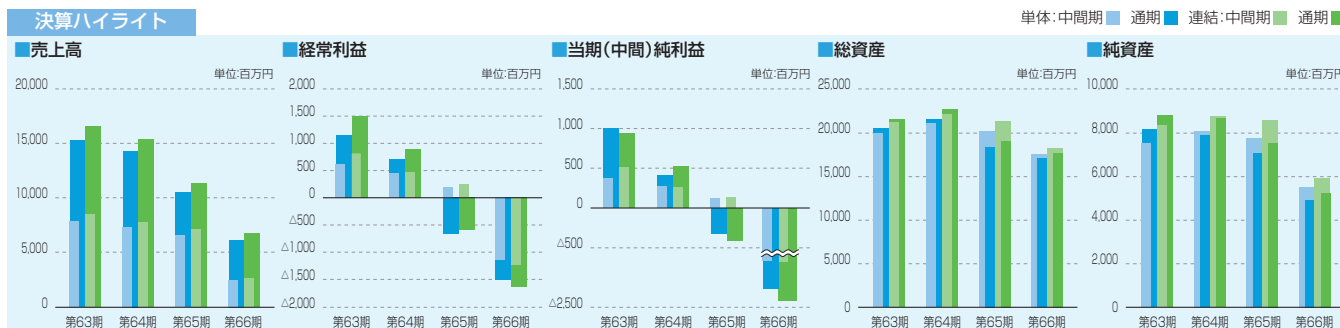
経常損失1,637百万円の結果となりました。さらに、構造改革としての希望退職に係る特別退職金支払および固定資産・棚卸資産減損処理ならびに繰延税金資産の一部取崩を実施したため、当期純損失2,420百万円の結果となりました。

なお、期末配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきます。今後は復配に向け業績回復に全力を尽くす所存でございますので、何卒ご理解のうえご支援賜りますようお願い申し上げます。

■来期の見通し

当社グループの主要顧客業界では、新興国での需要の高まりにも支えられ、生産活動は世界同時不況からの回復基調が明確になってまいりました。

来期は、活発な受注を背景に注力中の生産体制強化の効果および前期に行った固定費削減の寄与が期待できることから、市場環境が堅調であると予想されることから、業績の回復を見込んでおります。来期の連結業績は、売上高10,800百万円、営業利益410百万円、経常利益420百万円、当期純利益400百万円と予測しております。財務基盤を強化するため、中期経営戦略に基づいて、構造改革の推進、成長戦略の明確化と重点分野への資源再配分に取り組み、一日も早い業績回復を目指し傾注努力いたしますので、株主の皆様には何卒ご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。



## ■精密機器部門

## ■ボールねじ

当事業主要顧客であります半導体、液晶、電子部品業界は、前年度第4四半期を底に、緩やかな回復を示してまいりましたが、当下期に入りその回復基調は確実なものとなり、特に当第4四半期には前年同期比450%と受注は急増しました。これは国内外とも同時の動きであり、特に今まで低調であった米国の立ち上がりは急でありました。

この受注状況を受け、下期に入って以降増産対策を段階的に実行してまいりましたが、下期売上は上期の倍増にとどまり、受注残は急増を続けております。

この結果、ボールねじ製品の受注高は3,007百万円（前年同期比234百万円、7.2%減）、売上高は2,350百万円（前年同期比1,023百万円、30.3%減）となりました。



売上高	2,350	百万円
前年同期比	30.3%	減

## ■ツーリング・ゲージ

ツーリング製品につきましては、主要顧客であります自動車メーカーとその関連部品業界の設備投資が抑制・凍結されたこと、また、工作機械業界においては下期後半に多少の輸出回復が見られましたが通期の業況低迷は深刻で、受注・売上ともに大幅な落ち込みとなりました。

ゲージ製品につきましても、自動車関連業界からの更なる発注減少に加え、油井管ゲージも需要増には至らず、受注・売上ともに低迷しました。

この結果、ツーリング・ゲージ製品の受注高は1,250百万円（前年同期比932百万円、42.7%減）、売上高は1,213百万円（前年同期比1,315百万円、52.0%減）となりました。



売上高	1,213	百万円
前年同期比	52.0%	減

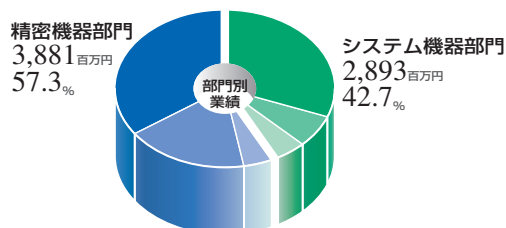
## ■空気圧機器

平成18年3月のクロダニューマティクス株式会社（KPL）の株式売却以降、減少してきた当社経由のKPL製品の取扱いはゼロになり、現状では、この部門はコンプレッサを扱うクロダイインターナショナル株式会社の営業活動のみとなっております。

この結果、空気圧機器製品の売上高は317百万円（前年同期比89百万円、22.0%減）となりました。

売上高	317	百万円
前年同期比	22.0%	減

## 部門別売上構成比

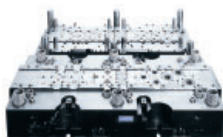


## ■システム機器部門

## ■プレス型

精密プレス金型は、受注では前年度第4四半期が底となり、それを受けて売上は当第1四半期が底となり、それ以降は景況の回復を受け増加傾向にあります。今回の回復の特徴は中国を中心とした海外需要が先行し、それに引きずられる形で国内需要が緩やかに回復している事にあります。低迷期が長かった影響もあり、更新型・新設計型が重なって引き合いは旺盛です。ハイブリッド自動車搭載用モーターコアは政府のエコカー振興策に支えられ好調な動きを見せました。また、携帯電話用振動モーターに代表される超小型コアについては昨年初の激減から回復が著しく、通期では前年度を上回りました。

この結果、プレス型製品全体の受注高は2,358百万円（前年同期比77百万円、3.2%減）、売上高は2,098百万円（前年同期比744百万円、26.2%減）となりました。



売上高	2,098	百万円
前年同期比	26.2%	減

## ■工作機械

工作機械業界を見ますと、業界全体が極めて大きな落ち込みに見舞われた中で、平成21年1月を底に受注が回復基調に転じました。しかしながら、受注の7割は外需、とりわけアジアの需要に支えられており、当社の主たる需要先であります国内市場は、回復しつつあるとはいえそのスピードは相変わらず鈍い状況です。このような状況下で、当社の工作機械事業は、第1四半期を底に受注が徐々に回復し、第4四半期にはピーク時の約4割まで回復してきております。

この結果、工作機械製品の受注高は488百万円（前年同期比623百万円、56.1%減）、売上高は445百万円（前年同期比827百万円、65.0%減）となりました。



売上高	445	百万円
前年同期比	65.0%	減

## ■精密測定装置他

超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ300TT）は主要顧客であります半導体材料メーカーの生産調整の影響を受け、受注・売上ともに低迷を続けました。液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置（当社商品名：ナノメトロFTT1500）の受注・売上も低調に推移いたしました。

この結果、精密測定装置他の受注高は258百万円（前年同期比580百万円、69.2%減）、売上高は350百万円（前年同期比606百万円、63.4%減）となりました。



売上高	350	百万円
前年同期比	63.4%	減

## ◎当社の中期経営戦略の骨子

成長戦略の明確化と集中投資

選択と集中による重点分野への資源再配分

技術基盤の強化 / ローコストな生産体制の確立

財務基盤の強化 / 景気変動に対する抵抗力の強化



## ◎部門別戦略

共通

- 全社構造改革の推進
- 生産性向上・リードタイム短縮
- マーケティング強化
- 新規事業開発
- 教育体系整備・人材育成
- 海外販売網の強化

ボールねじ

- 経営資源の重点的投入と成長戦略の実行

プレス型

- 低炭素社会実現に向けた商品開発
- 新分野の開拓

ツリーリング  
ゲージ

- 営業面・技術面・生産面でのシナジー効果を追求した組織再編
- 効率的な業務運営体制構築による収益体質の確立

工作機械

- 精密計測・システム制御・ソフトウェア・電気等技術を統合・全社工機部門基盤の強化

精密測定  
装置他

精密技術を通じて世界の産業高度化をサポート

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 平成22年3月31日現在	前期 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,448	7,759
固定資産	10,267	11,337
有形固定資産	8,216	8,914
無形固定資産	127	136
投資その他の資産	1,923	2,286
資産合計	17,716	19,097
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,405	5,073
固定負債	7,050	6,476
負債合計	12,455	11,549
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,580	6,000
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	261	2,680
自己株式	△6	△6
評価・換算差額等	1,532	1,399
その他有価証券評価差額金	264	136
土地再評価差額金	1,335	1,337
為替換算調整勘定	△67	△73
少数株主持分	146	147
純資産合計	5,260	7,547
負債・純資産合計	17,716	19,097

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	前期 平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
売上高	6,774	11,382
売上原価	6,359	9,447
売上総利益	414	1,935
販売費及び一般管理費	1,945	2,618
営業利益	△1,530	△682
営業外収益	274	357
営業外費用	381	270
経常利益	△1,637	△596
特別利益	5	46
特別損失	482	83
税金等調整前当期純利益	△2,113	△632
法人税、住民税及び事業税	41	29
法人税等調整額	258	△265
少数株主利益	5	10
当期純利益	△2,420	△408

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 平成21年4月1日～ 平成22年3月31日	前期 平成20年4月1日～ 平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△232	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168	△1,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	758	409
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△113
現金及び現金同等物の増減額	354	△646
現金及び現金同等物の期首残高	3,312	3,958
現金及び現金同等物の期末残高	3,667	3,312

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,759	7,084
固定資産	10,341	11,295
有形固定資産	7,873	8,536
無形固定資産	125	134
投資その他の資産	2,342	2,624
資産合計	17,101	18,379
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,293	4,967
固定負債	6,891	6,350
負債合計	12,185	11,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,316	5,587
資本金	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451
利益剰余金	△3	2,267
自己株式	△6	△6
評価・換算差額等	1,600	1,474
その他有価証券評価差額金	264	136
土地再評価差額金	1,335	1,337
純資産合計	4,916	7,061
負債・純資産合計	17,101	18,379

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成21年4月1日～平成22年3月31日	平成20年4月1日～平成21年3月31日
売上高	6,164	10,530
売上原価	5,954	8,919
売上総利益	210	1,611
販売費及び一般管理費	1,761	2,349
営業利益	△1,550	△738
営業外収益	319	337
営業外費用	281	262
経常利益	△1,512	△663
特別利益	6	168
特別損失	481	90
税引前当期純利益	△1,987	△585
法人税、住民税及び事業税	17	12
法人税等調整額	267	△276
当期純利益	△2,272	△321

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

会社の概要

(平成22年3月31日現在)

商号	黒田精工株式会社
本店	神奈川県川崎市幸区下平間239番地
創業	1925年(大正14年)
資本金	18億75百万円
従業員数	455名

連結対象会社の状況

(平成22年3月31日現在)

連結子会社	持分法適用関連会社
クロダイインターナショナル株式会社 クロダプレジジョンインダストリーズ(M) (マレーシア) 平湖黒田精工有限公司(中国) 永昇電子株式会社	株式会社ゲーシング 日本金型産業株式会社 クロダニューマティクス株式会社 株式会社TGK

当社グループの主要な事業

部門	製品グループ	主要製品
精密機器	ボールねじ	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ
	ツーリング・ゲージ	MCツーリング、専用ツーリング、ハイドリックツール、微量潤滑油供給装置(当社商品名:エコセーバ)、その他各種保持工具、油井管用ねじゲージ、ねじゲージ、ブロックゲージ、一般ゲージ類
	空気圧機器	電磁弁、アクチュエータ、エアクリーン機器、省配線システム、各種補器類、コンプレッサ
システム機器	プレス型工作機械	積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)、モータコア型、精密金属プレス製品
	精密測定装置他	超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFT11500)、パルスエンコーダ、医療用機器、電子機器

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号
定時株主総会	毎年6月下旬	中央三井信託銀行株式会社	中央三井信託銀行株式会社
基準日	毎年3月31日	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定款社章・株簿		電話(電話照会先)	0120-78-2031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 http://www.kuroda-precision.co.jp/ ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。	取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。	

株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式	
お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先
郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL. 0120-78-2031(フリーダイヤル)
支払期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問合せ	
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
○特別口座に記録された株主様の株式に関する各種お手続きに関しましては、中央三井信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、下記へお問合せください。	
お問合せ先 0120-78-2031 (フリーダイヤル)	
[手続き書類のご請求方法]	
・音声自動応答電話によるご請求	0120-87-2031 (フリーダイヤル)
・インターネットによるダウンロード	http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

黒田精工株式会社

本社 / 〒212-8560 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
TEL / 044-555-3800(代表) FAX / 044-555-3524  
http://www.kuroda-precision.co.jp/

